

能登川再発見

能登川で出会う 美しい風景

私たちのまちに広がる
清らかな水辺の景観
真夏の日差しに輝く水面は
しばし暑さを忘れさせてくれます…



水辺の景観
(伊庭町)



湖岸のサギ
(栗見出在家町)

提供：躰光寺町老人クラブフォト同好会

～ 能登川中学校生徒会美化活動 ～ フラ輪ープロジェクト ＜ 花でつながる地域の輪 ＞



梅雨のさなか、能登川中学校生徒会25名が教職員4名とともにフラワーポット34基に、暑さに強いメランポジウムとポーチュラカを植えました。

秋の植替え時期まで、継続して水遣りに努めます。

残念ながら、能登川南小学校の児童たちは雨のため参加を取りやめました。

■日時：6月11日(休) ■場所：JR 能登川駅西口・東口

■協力：(一社)能登川地区まちづくり協議会環境事業部・地元有志・東近江市能登川支所



発行日：令和2年8月1日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1205 東近江市躰光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内

電話 050-5802-2793 (平日のみ) FAX：0748-42-1556

E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp http://notomatikyo.com/

一般社団法人能登川地区まちづくり協議会 令和2年度 定時総会

5月23日(土)、令和2年度定時総会を能登川コミュニティセンターで開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面議決で行いました。

令和元年度事業報告・決算報告、令和2年度事業計画(案)・予算(案)、理事の改選(案)の各議案は全て承認されました。

年が変わって発生した、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の幾多が中止や延期に追い込まれました。そのため、いずれの部門でも不満足な形で年度を終えたことは残念な結果となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が限定的になっている現状から、当初の計画にとらわれず、「新しい生活様式」の中で、どのような活動ができるのかを模索していくことも必要かと考えます。

主な内容は次の通りです。



令和元年度事業報告

まちづくり部門

- JR 能登川駅開業 130 周年を記念して、一日駅長就任式典や記念式典及び講演会を開催、自治会ははじめ、各団体のご支援を受け、駅前整備の署名活動も並行して行いました。
- 「能楽を楽しむ 能装束と着付実演と能『狸々』」公演で能登川中学校 3 年生、「音楽鑑賞会 びわ湖ホール声楽アンサンブル『泣いた赤鬼』」公演で地区の 4 小学校 6 年生を招待するとともに、一般の方がたにも楽しんでいただきました。
- 自治会ごとの懇談会「まちづくりカフェ」を開催し自治会との連携強化を図り、また、まちづくり委員視察研修として「まち歩き」を行い、地区の再発見に努めました。
- 自主防災活動関係としては、「リーダー研修会」・「成果発表会」・「愛知川流域自治会防災対策会議」等の研修会を開催し、各自自治会の防災についてのヒアリングやアンケート調査を行いました。他に、災害時に避難所となる学校見学会も催しました。
- 「東近江市観光ボランティアガイド協会能登川支部」の活動を企画支援しました。

- 駅前を花で飾る、能登川中学校・能登川南小学校の「フラ輪一プロジェクト」を支援しました。また、「栗見プロジェクト」として、琵琶湖岸の清掃と環境整備を行いました。その他、廃食油の回収や、段ボールコンポストの普及に取り組みました。
- 子育て支援、子ども食堂、高齢者の居場所づくり「おしゃべりカフェすまいる」、「婚活事業」、「能登川病院をよくする会」等の健康福祉事業も積極的に行いました。
- 猪子山古墳群や里山整備の「猪子山森林再生プロジェクト」も猪子自治会、南小学校、八日市南高等学校の参画で継続実施しました。
- 指定管理施設の有効利用の観点から、各種大会や公演の開催や共催、協力を行い、とりわけ「やわらぎの郷フェスティバル(5月19日(日))」は好評でした。

指定管理部門

- 能登川コミュニティセンターでの生涯学習(文化・スポーツ)、人権、青少年育成、地域の諸事業や、やわらぎホールとやわらぎの郷公園の管理運営を行いました。

令和元年度決算

単位：千円

項目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	6,114	6,308	△194
指定管理部門	63,587	63,825	△238
計	69,701	70,133	△432

※前年度繰越金を除く

令和2年度事業計画

4年目となる「まちづくり計画」各種事業の発展継続、自治会との連携を深めた地域課題の解消、個性を生かしたまちづくり等々、計画で提唱された「住みたい住みよい 住み続けたい 水車のまち 能登川」の実現に向け、住民のみならず、自治会、市民活動団体、行政と協働してまちづくりに取り組んでいきます。

令和2年度予算

単位：千円

項目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	6,121	6,121	0
指定管理部門	64,188	64,188	0
計	70,309	70,309	0

理事の改選

理事の改選を行いました。令和2年度の役員は下記の通りです。

(順不同)

理事 (27名)	藤居正博(会長) 居原田善嗣(副会長) *清水秀男(副会長) 四方秀亮(まちづくり) 木下 勉(指定管理)
	澤 雅夫(前年度能登川地区自治会連合会会長) 河村松男(元能登川地区自治会連合会会長)
監事 (2名)	北崎富三(会計)(東近江市能登川地区老人クラブ連合会会長)
	*里田 明 *田井中安行 *藤野克己 *太附治樹 *宮澤典久 *桐田 茂 *田附善章 *中澤康夫
	*中川弘一 *脇 純一 *若林盛隆 *川原崎弥三男
	北岡芙美子(能登川地区文化協会会長) 若林陽子(能登川赤十字奉仕団副委員長)
	小松安希子(能登川地区子ども会指導者連絡協議会会長) 里田起明(能登川地区スポーツ協会理事長)
	川南義博(のとがわ福祉の会副会長) 今堀 豊(まちづくり) 櫛田善春(まちづくり) (注)*は能登川地区自治会連合会役員(13名)
	村林又藏(元能登川地区自治会連合会会長)
	脇 和彦(東近江市能登川支所長)

地域映画「伊庭物語 ～想いをつなぐ～」が完成

— 地域の宝を後世まで… —

伊庭町でフィールドワーク（現地調査）を行っている龍谷大学深尾ゼミ生は、伊庭町の水辺を後世に残していくことを目的に「水辺の里伊庭を考える会」を発足させ、2018年からは、地域映画「伊庭物語～想いをつなぐ～」の制作に取り組み、本年3月に完成させました。

当初は3月伊庭町謹節館で試写会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期し、現在、上映の機会を探っています。

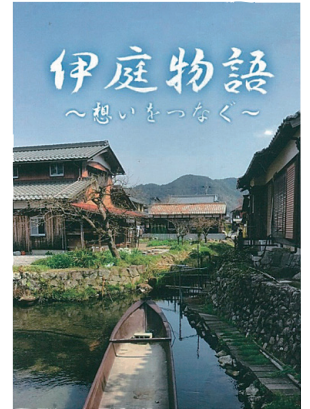


学生たちが大切にしてきたのは、子どもから高齢者まで地域の人の参加機会を増やすこと、プロデューサーとして完成までの道筋をデザインすることでした。

それだけに苦労も多かったようですが、それ以上の達成感（充実感）があり、何より「チーム」の存在が大きかったと言います。地域の人と外部の人（ゼミ生）が「仲間」として事業プロジェクトに共感し合うことが、ファンや協力者を増やすことに繋がっていったようです。

学生たちは、「今回の映画制作をきっかけに、伊庭の人々が地域への想いや魅力を共有され、この地域が培ってきた大切な宝を子どもや孫、その先の世代まで受け継いでいってほしい」と、強く願っています。

■お問い合わせ：（一社）能登川地区まちづくり協議会
TEL050-5802-2793



お知らせ

<能登川病院情報>

発熱外来設置

新型コロナウイルス院内感染防止と、外来患者さんの安心・安全確保のため、発熱外来を病院に隣接する能登川保健センター内に設置されました。

診 察：月曜日～金曜日

時 間：9:00～（終了時間は、受付状況により変動します。）

その他：予約制のため、受診希望の際は、電話（0748-42-1333 受付8:00～11:30）でお申し込みください。

* 新型コロナウイルス感染症が強く疑われる場合は、「帰国者・接触者相談センター」に相談ください。
電話：077-528-3621 受付時間：24時間



能登川体育館が生まれ変わります

東近江市立 能登川アリーナ

能登川図書館東隣

10月1日
オープン!

冷暖房完備で年中快適!

トレーニングルーム完備!

臨場感あふれる観覧席!



<移転のお知らせ>

- 東近江市社会福祉協議会能登川事務所
- ヘルパーステーションなごみ
- のとがわ福祉の会

「能登川障害福祉センター水車野園」へ移転しました。

- 住所：〒521-1241 東近江市乙女浜町1405番地
- 電話：0748-43-0595
- I P：050-5802-2989
- FAX：0748-43-0596



* 交通アクセス

ちよこっとバス大中線（能登川駅～大中町）乙女浜北下車

能登川のむかし話

【シリーズ17】

神郷七本杉と乎加神社縁起

むかし、和田山の山麓に、大和国から移り住んだという太丸という人がいました。妻との間に七人の子どもがあり、貧しいながらも仏心篤く、心安らかに暮らしていました。

ところが、ある夜、たくさんの童子を連れた美しい女の人が訪れ、一夜の宿を乞われたのです。

「もし、一夜の宿をお願いすることができればならば、あなた方の七人の子供さんより七代の富貴を約束いたします。私があなたの方のところに来ましたのは、日頃の行いに感応したからです」と申されました。

太丸は、雨もりがするほどの貧しい家に住んでいたのですが、女の人と童子たちを丁寧に家に招き入れ、夫婦してもてなしました。

ところが、夜明け前、その女客は小さな白蛇に姿をかえ、たくさんのお金を消えてしまわれたのです。

夢のような一夜が過ぎ、よく朝、外に出てみると、いつの間にか、家の前に七本の杉の木が生い茂っていました。



やがて、七人の子どもたちは成長し、白蛇の言葉どおり兄弟仲よく、両親を大切に育て、家はどんどん栄えて行きました。そして、この地の長者になり、人々から太丸長者と呼ばれるようになりました。子どもたちはみなで力を合せて、この地に社を建て、この霊神をおまつりました。記念の七本の杉は、この社の前に二本、藤の木馬場に二本、梨間に二本、神郷北出口の山麓に一本と分けて植えられました。

現在では、太丸長者の七人の子どもたちが建立したと言われる乎加神社の境内に、七本杉の切り株が一所残っているのみです。



出典：「能登川のむかし話」 昭和55年能登川町教育委員会



「能登川のむかし話」を検証

～ 乎加神社に行ってみました～

国の登録文化財である社殿は、約3,300坪の樹木に囲まれた広い境内にあって、明治22年に伊勢神宮から移築された本殿は、りっぱな素晴らしい建物です。

神社の手入れをされている人に、むかし話の七本杉の切り株についてお聞きしたところ、「現在、杉の木は4本あるが、昔の切り株らしいものはない。」ということでした。

(広報部：K&I)



参加者募集

あなたの歌や踊り、趣味の作品をこの機会に披露してみませんか？

第62回能登川地区文化祭

日時：10月31日(土)～11月1日(日)

場所：能登川コミュニティセンター

主催：能登川地区文化祭実行委員会



芸能発表の部

●日時：11月1日(日)午後

*出演料無料

お一人(団体)5分程度

打合せ・リハーサルに参加できること



作品展示の部

●日時：10月31日(土)9:00～17:00

11月1日(日)9:00～16:00

*出展料無料

展示スペースの都合により、大きすぎるものはお断り、または点数を減らしてもらう場合があります。

■申込期間：8月3日(月)～21日(金)9:00～17:00(土日祝可 電話不可)

■申込方法：コミセン窓口にて所定の申込書に必要事項をご記入ください。

※都合により、変更・中止の場合もあります。

イベント中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記のイベントは中止となりました。

□ 第57回能登川地区市民運動会(10月4日)

□ 第28回能登川ふれあいフェア2020(10月18日)